



# 教員が研究の楽しさを語る

第235回(10/29)綿野 泰行先生推薦

ブックガイド



※掲載されている本はL棟2階 あかりんアワーのコーナーに配架されます。

## Book1

### 森の分子生態学：遺伝子が語る森林のすがた (種生物学研究 第23号)

著者：種生物学会編

出版：文一総合出版, 2001.2

コメント：第一部の第5章で、今回話題提供するハイマツとキタゴヨウの種間交雑の話が載っています。

今となっては古い本ですが、DNAなどの分子情報を使った進化研究の入門書として今でもお勧めできます。



## Book2

### 利己的な遺伝子 40周年記念版

著者：リチャード・ドーキンス [著]；日高敏隆 [ほか]  
訳

出版：紀伊國屋書店, 2018.2

コメント：第一部の第5章で、今回話題提供するハイマツとキタゴヨウの種間交雑の話が載っています。

今となっては古い本ですが、DNAなどの分子情報を使った進化研究の入門書として今でもお勧めできます。

